

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス絆宝		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日		2025年 11月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 3日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児の安定した通所の意欲が高い。  来所型地域ボランティアの活動にて地域交流を図っている。	児童が事業所での活動を楽しみにしており安定した通所につながっている。 児童一人ひとりの特性や興味・関心を踏まえた支援や活動決定を行うことで安心して過ごせる環境づくりに努めている。  ボランティアの演目として「本の読み聞かせ」「紙芝居」「マジック」「小集団遊び」を提供しており、コミュニケーション面・社会性などの向上を図っている。	楽しみながら学習するプログラムを今後も工夫しながらすすめていく。  児童の特性や安全面に配慮しながら、地域との繋がりを大切に支援を継続していく。
2	事業所内研修および外部研修の参加機会を設け職員が継続的に学べる環境づくりを行っている。	常勤、非常勤を問わずすべての職員が研修に参加できる体制を整え、支援の質の向上につなげている。 学んだ内容を職員間で共有し日々の支援に活かせるよう努めている。	今後も常勤・非常勤問わず参加できるように、業務調整・人員配置を行い、研修で得た知識や気づきを職員間で共有し支援の質につなげる。
3	保育士、児童指導員、理学療法士がチームとなり児童一人ひとりの特性や、その日の様子にに合わせて柔軟に支援を行っている。	個別支援や小集団活動をバランスよく取り入れダンス、ストレッチ、リズム体操、運動療育、調理実習、創作活動などを曜日ごとに実施し専門性と楽しさを両立した支援を行っている。	今後も有資格者を配置し、児童一人ひとりの特性や体調、その日の様子に応じて柔軟な支援体制を整え安心して楽しく参加できる支援の提供に努める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流や情報共有の場としての保護者会を現時点では開催できていない。	保護者が就職や家族の事情により、日中・夕方の時間帯での参加が難しい方がほとんどで企画しても参加が見込めない状況である。	保護者会という集合形式に限定せず、個別面談・電話・LINEなどのツールを活用し保護者の情報交流や相談の機会を確保している。 今後は保護者の負担軽減を考慮し、書面配布、オンライン形式等も含めた多様な方法による意見交換の機会を検討し、保護者同士や事業所の繋がりを深めるよう工夫していく。
2	きょうだい児に対する支援やプログラムを時点では実施していない。	保護者からきょうだい児支援に関する具体的な要望がなく事業所として積極的な支援提供に至っていない。	現時点では、きょうだい児に対する直接的な支援を行っていないが、保護者のニーズを把握し必要とされた場合は、関係機関と連携しながら適切な支援や情報提供をしていく。